

FUREAINO MACHIZUKURI

# 滴翠会報

2016  
月刊

10月号

第310号  
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会



滴翠会 秋季運動会

## 第32回社会福祉法人滴翠会 秋季運動会

10月6日、救護施設慈翠館グラウンドに於いて社会福祉法人滴翠会の秋季運動会が行われました。当日は法人傘下四施設の利用者と職員、総勢約200名が集い、紅白に分かれて個人競技や団体競技で競い合いました。

個人競技の魚釣りや遠くに飛ばそう（お手玉投げ）が始まると、皆さん賞品を目指し真剣な表情に変わります。観客席からは紅白に関係なく、競技者にたくさん声援や拍手が送られました。施設の垣根を越え、利用者と職員が一丸となり、大いに盛り上がりました。

最後は競技に参加された皆さんの健闘を称え、今年の法人運動会が終わりました。これからも利用者の体力維持と施設間の交流を図っていききたいと思います。皆さん、お疲れ様でした。



運動会でパン食い競争

●養護老人ホーム  
てきすいえん  
**滴翠苑だより**

かすみがうら市横堀四五―一五  
TEL〇二九九―五九―三六三一

**滴翠会秋季運動会**

10月6日滴翠会秋季運動会が慈翠館グラウンドで行われ、滴翠苑からは22名の方が参加しました。天候が心配されましたが、運動会日和の晴天でした。個人競技の「魚釣りゲーム」やボールを投げその距離で競う「遠くへ飛ばそう」では、一位を目指して皆さん取り組まれていました。

団体競技の「紅白玉入れ」「くす玉割り」職員参加の「大玉運び」は、チームの勝利のため利用者と職員、また施設の枠を越えて一致団結しました。特にくす玉が割れた瞬間、会場が歓喜に沸きました。両者力が均衡し得点は同点で、決着は代表者によるじゃんけんにて委ねられ結果紅組の勝利となりました。皆さん自分の力を十分に発揮し歓喜に沸いた運動会でした。

**アクティビティ・ワーカー  
養成研修**

支援員 安田 友哉

9月5日に茨城県総合福祉会館で行われたアクティビティ・ワーカー養成研修を受講してきました。

研修内容としては、「福祉現場におけるレクリエーションの誤解と限界を通して考える生活支援技術」ということで、アクティビティ・サービスとは何か、レクリエーションとの違いなどの学習を通じて、どのように利用者の心身や生活を充実させていくかを学んできました。

特に印象に残っていることは、「一番の個別支援は利用者本人に話してもらえるよう促す」ということです。これがどのようなプログラムよりも心身を充実させることに繋がっていきます。このことを肝に銘じて利用者に向かい合っていきたいと思えます。とても充実した研修になりました。



感染症予防で手洗い

## 感染症対策

11月～3月頃にかけて感染症（インフルエンザ、ノロウイルス等）が流行することから、今年も施設で対策をとってまいります。

インフルエンザの予防接種は、毎年10月に実施していましたが、昨年流行の時期が遅れたのを考慮し、今年は11月に実施予定です。それ以外にも毎朝の起床時のうがい、マスクの着用、外出後の手洗いという等を行ってまいります。特に手洗いには気をつけて、指先から手首までしっかりと洗い汚れを落とすよう職員も含めてきちんと行っていただきたいと思えます。また、ご家族様の面会や外出・外泊は、状況によっては出来ない場合もありますので、事前にご連絡ください。

今年も引き続き職員一同気を引き締め感染症に気をつけていきたいと思えます。

## 滴翠苑第41回文化祭のお知らせ

日時 11月10日(木)

午前10時より

今年もご家族を招待して文化祭を開催いたします。

- ・ 式典
- ・ 祝宴
- ・ バザー（野菜、果物の販売）
- ・ お茶会
- ・ 作品展示

を予定しています。ご家族のご来苑を心よりお待ちしております。

### ＊職員研修・会議

接遇・コミュニケーション技術  
向上研修会 9月22日  
給食施設栄養管理者研修 9月14日

### ＊10月の行事

滴翠会秋季運動会 10月6日  
滴翠会40周年記念合同慰霊祭 10月15日  
遠足 10月17日  
お誕生会 10月27日



石岡市障がい者スポーツ大会

●救護施設  
慈翠館だより

石岡市半ノ木一四六一  
TEL〇二九九―二四―二八七一

石岡市障がい者

スポーツ大会

10月8日、石岡市運動公園体育館にて第23回石岡市障がい者スポーツ大会が開催されました。市内に在住の障がい者の方、施設の利用者や職員、ボランティアの小・中学・高校生、家族など約600名が集まり、賑やかな大会となりました。

慈翠館からは利用者・職員含め46名が参加し、魚釣り競争やボーリングなどの個人競技と玉入れや綱引きなどの団体競技に出場しました。初めて参加する方も多く皆さん頑張っていました。また、開会式で利用者の代表1名がステージに立ち参加者の前でラジオ体操を行いました。ラジオ体操は毎日行っていますので本番では良く出来ていました。

総合順位は4位と優勝は逃してしまいましたが、来年は順位が1つでも上がるよう頑張りたいと思います。

みどり会レクリエーション

毎年春と秋に行われているみどり会のレクリエーションが9月10日に開催されました。レクリエーションは恒例のダーツです。ダーツの的にめがけてボールを投げ、合計の点数で競うゲームですが、これが見ているのとやってみるのでは全然違い、ボールがうまく中心にいかず、皆さん苦戦しているようでした。

そんな中、1位は1回戦目ですぐに決まりましたが、2位3位は同点が多く、2回目、3回目と接戦になりました。周りから「頑張れ！」という声援を受けながら順位が決まりました。今年にはオリンピックの年というのもあり、景品はいつものお菓子ではなく金銀銅のメダルがプレゼントされました。惜しくも等賞を逃した皆さんも次は入賞を目指して頑張ってほしいです。



プロ野球観戦

## プロ野球観戦外出

プロ野球の観戦に9月17日東京ドームへ行きました。

事前に購入しておいた電車の切符を持って、目的地の水道橋駅を目指します。途中、乗り換えが複雑な所があったり、予定時刻よりも遅くなっていたこともあり慌ただしく移動をしてしまいました。なんとか現地へ到着しました。

到着した時には、お昼の時間となっていたので、近くにある和食屋さんでご飯を食べました。皆さん「おいしいね」と召し上がっていました。

腹ごしらえが終わった後、ドームの前で記念写真を撮りました。会場周辺は野球ファンの人たちで一杯でした。ドーム内に入場し、試合開始まで時間があったので、みんなで売店を訪れてお土産を購入しました。

いよいよプレイボールとなりました。野球選手の投げる球は実際に見てみると非常に速く、みなさん食い入るように観戦していました。応援しているチームが走者を溜めてチャンスを作り、打席に入った選手がヒットを打った瞬間、ドームは溢れんばかりの歓声と共に非常に大きな盛り上がり包まれていきました。

時間の都合で最後まで観戦出来ませんでした。それでも「楽しかった。また来年も行きたいね」と満足そうに話されていました。

### ❁ 職員研修・会議

OJTマネジメント力向上研修

9月7日～8日

職場内研修担当者養成研修

9月13日～14日

給食施設栄養管理者研修会

9月14日

全国救護施設研究協議大会

9月29日～30日

### ❁ 10月の行事

滴翠会秋季運動会

10月6日

石岡市身障者スポーツ大会

10月8日

滴翠会40周年記念合同慰霊祭

10月15日

バーベキュー

10月18日

総合健康診断

10月20日



遠くへ飛ばそう

●特別養護老人ホーム  
めいすいえん  
**明翠苑だより**

石岡市半ノ木一―四八―一―  
TEL〇二九九―二三―九六二〇

**滴翠会秋季運動会**

10月6日慈翠館グラウンドにて「第三十二回滴翠会秋季運動会」が開催されました。

当日は真夏を思わせる暑さの中、明翠苑の皆さんも36名ほど参加され、紅チーム・白チームに分かれて競い合いました。競技は、個人種目の「魚つり競争」「遠くへ飛ばそう」「パン食い競争」、団体競技の「紅白玉入れ」「クス玉割り」職員による「大玉運び」が行われ楽しまれていました。

競技中は、同じ組の利用者の方から「頑張れ」「あと少し」など拍手や応援も聞かれていました。結果はまさかの同点で、最終的にジャンケンで紅組が勝ちました。

勝った紅組の皆さんからは、「よくやった」「勝ててよかった」などの声が聞かれ、負けた白組の皆さんは、「来年は勝つぞ」「悔しい」などの声が聞かれました。今年も白熱した秋季運動会が無事終了いたしました。皆さんお疲れ様でした。

**彼岸法要**

9月24日明翠苑・華翠会館利用者職員が参列し、彼岸法要が行われました。

華翠会館ホールに祭壇が設けられ、明翠苑在籍中にお亡くなりになった方の位牌が並べられました。

当日は、ご導師様による「法話」が行なわれました。私たちがいる世界は煩惱や迷いに満ちた世界で「此岸」といい、それに対して悟りの世界・仏の世界を「彼岸」といいます。その悟りの世界に行くためには、仏の教えを守り、行いを慎む事が大切です。ですからお彼岸中はお墓参りをしてお墓をきれいにし、ご先祖様に対して感謝の意を表してくださいというお話でした。

そして一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌、十七回忌、二十三回忌、二十七回忌、三十三回忌の法要が行われました。読経のあと、利用者の方々と職員によって焼香が行われ、祭壇に向かって手を合わせ、お亡くなりになった方のご冥福をお祈りしました。

## ふあみり一通信

## 9月の出来事

- 9月7日 慈翠館の「敬老祝賀会」が行われ、利用者3名・職員4名が参加しました。
- 9月8日 滴翠苑の「長寿祝いの日」にご招待を受け、利用者2名・職員3名が参加しました。
- 9月10日 明翠苑の「長寿を祝う会」を行ないました。ご家族を招待して盛大にお祝いをしました。
- 9月15日 「十五夜」で各グループの食堂にすすき、お団子、栗などを飾りました。
- 9月26日 彼岸法要が行われ、これまで明翠苑在籍中にお亡くなりになった方々のご冥福を祈りました。
- 9月28日 ふらんす亭食事を行い、秋刀魚の蒲焼き丼セット、肉丼セット、冷やしとろろそばセット、ビーフシチューセットの中から選んで召し上がっていただきました。

## 明翠苑ニュース

(9月分)

面会	70件	延111名来苑
外出	1件	外泊0件
ショートステイ	6名	延75日利用
ボランティア		
売店ボランティア	1名	1日来苑
北浦団地ボランティア	3名	1日来苑
研修		
アクティビティワーカー養成研修		
OJTマネジメント力向上研修		

## 明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

## 慰霊祭

今回は、慰霊祭について紹介したいと思います。

慰霊祭は、明翠苑創立の昭和56年から63年まで、毎年11月に開催されていた「感謝祭」の中で行なわれていました。平成5年からは春の「ぼたんまつり」と合わせて、ご遺族を招待して行なわれてきました。

会場には花で飾られた祭壇が設けられ、明翠苑在籍中にお亡くなりになった方のお位牌が安置され、ご導師による読経・法話、ご遺族、利用者、職員による焼香を行ない、最後は祭壇を背に記念撮影をしていました。毎年、回忌にあたるご遺族等、20世帯ほどの方が参列して下さっていました。

平成19年からは、明翠苑の利用者と職員、そしてご導師をお招きして毎年10月に慰霊祭を行なっております。

今年は、社会福祉法人滴翠会が創立40周年を迎えたことを記念して、3施設合同の慰霊祭を10月15日に行いました。

ご参列下さいましたご遺族の皆様誠にありがとうございました。



クッキング「ディップケーキ」

●デイサービスセンター  
**華翠会館だより**

石岡市半ノ木一四八〇  
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

利用者数 10名(男2名 女8名)  
レクリエーション 笑ってまわしてゲーム

笑ってまわしてゲームをしました。  
輪を作り、ひもに通ったリングを曲が止まるまで隣の方に渡します。  
もし、曲が終わった時にリングを持っていたら、「笑いカード」を引きその通りに大きな声で笑ってもらいます。  
恥ずかしがって声が出ない方もいましたが、皆に連れられて笑い始め、気分もスッキリされた様でした。

デイサービス日誌

9月3日(土)

利用者数 9名(男4名 女5名)  
レクリエーション クッキング「ディップケーキ」

クッキングで「ディップケーキ」を作りました。  
粉をかき混ぜるのにも案外力がいるもので、担当された方は「美味しくなあれ～」とおまじないをかけていました。  
焼く担当の方もたくさんのケーキを汗をかきながら作製。  
出来上がったケーキにホイップやジャム、あずきを添え、おやつに皆でいただきました。  
お腹いっぱい大満足のおやつでした。

デイサービス日誌

9月14日(水)

### 利用者募集中!!

見学・体験利用を随時行っています。

お気軽にお問い合わせください♪

〈営業日〉

月曜日～土曜日

(祝日も営業しています)

### 新任職員紹介

看護師 櫻井 藍

(平成28年8月採用)

8月より華翠会館にて看護師として勤務させて頂いております櫻井です。  
趣味は写真を撮る事で、花や木々、空等の自然を撮って季節を感じる事が好きです。  
色々と至らない点があるとは思いますが精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

## 明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一四八―  
TEL 〇二九九―二三―九六三四

### 初心に帰って

体の不自由な人をベッドから車椅子に移動する時に、ベッドの柵につかまったり、そのまま手を離そうとしないためなかなか車椅子に移動することができなくて困ったという経験はありませんか？ 車椅子を押してあげたときに普通に押したつもりが「そんなに急がなくていいよ」と言われてしまったり、着替えを手伝おうと手を出したところ洋服をつかんで抵抗を見せたりと、介護者が戸惑ってしまうような行動を見せる人がいます。なぜなんだろうと考えたときに思ったこと。それは自分ではない誰かのペースで動かされることへの恐



怖なのではないかということでした。突然の病気や怪我がもとで人の手を借りなければ生活が成り立たなくなってしまう場合、本人にとってもその状態を受け入れるまでには葛藤があるのではないのでしょうか。

はじめに「〇〇しましょうか」と声をかけたりそっと肩や手に触れて安心感を持ってもらいましょう。そして思いやりを持って相手の立場に立って介助することが大切だと思います。介護

を受ける人も徐々に介助に慣れて恐怖心も薄れていき、拒否や抵抗もなくなっていくでしょうが、自分に置き換えてみて身体的にも心理的にも不安や苦痛を感じなければ合格ではないでしょうか。

例えば車椅子で坂道の手前で向きを変えられ、後ろ向きに下ったら怖くないですか？坂道を下る時は後ろ向きに進むのが基本ですが、ゆるい坂道の場合は前向きに車椅子のハンドルをしっかり握ってゆっくり下るといいです。行く手が見えないよりは進行方向に進む方が安心ですよ。

初めて介護をする時は誰でもおっかなびっくり、ひとつひとつ確認しながら行なっていたと思います。その時の気持ち思い出して、思いやりを持って介護したいと思うのです

ケアマネジャー 井川 由美子

# 私の<sup>メニュー</sup>MENU

## ☆かつおのたたき イタリア風

(1人分 132kcal)

戻りかつおの脂がのった濃厚な風味とバルサミコ酢のさわやかなソースが食欲を増進させ、体力upに効果的です。

### ●材 料 (2人分)

- ①ソース：オリーブ油 大さじ1 / バルサミコ酢 小さじ1  
レモン汁 小さじ1 / 塩、こしょう 各少々
- 玉ねぎ ¼個 / アンチョビ 1切 / にんにく ¼片
- ピクルス 10g / パセリ 5g / あさつき 1本
- かつおのたたき 160g

### ●作り方

- ①かつおのたたきは1cmの幅に切る。①の材料を混ぜソースを作る。冷蔵庫で冷やしておく。
- ②たまねぎ、アンチョビ、にんにくは刻み、パセリ、ピクルスはみじん切り、あさつきは小口切りにする。
- ③①を器に盛り、②を散らし、ソースをかける。

滴翠苑 管理栄養士 高田恵美子

## 今月のことば 19

月影の いたらぬ里はなけれども  
月見る人の 心にぞ澄む

【法然上人】

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム	滴	翠	苑
救護施設	慈	翠	館
特別養護老人ホーム	明	翠	苑
ユニット型特別養護老人ホーム	明	翠	苑
ショートステイ施設	明	翠	苑
独立型デイサービスセンター	華	翠	会館
明翠苑居宅介護支援センター			

職員募集中 詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人 高木 医院



社会福祉法人 滴 翠 会 <http://tekisukai.or.jp/>